

参考資料 1

「主要ドナーの援助実施額」の比較における重点分野の分類について

第3章においては、主要ドナーの援助実施額を、OECD/DAC “International Developing Statistics (IDS)”の “Creditors’ Reporting System (CRS)”を用いて、我が国のケニア国別援助計画の重点分野ごとに比較している。その際には、以下のような分類を用いている。

図表 我が国重要分野と CRS コードとの関係

日本の援助分野	CRS統計のコード							
a) 人材育成								
a-1 基礎教育の拡充	11110	11120	11130	11220	11230	11240	11320	
a-2 高等教育・技術教育の拡充	11330	11420	11430					
a-3 行政能力の向上	15110	15120	15140					
a-4 民主化支援	15130	15150	15161	15162				
b) 農業開発								
b-1 生産拡大	31110	31120	31140	31150	31161	31163	31164	
b-2 商品作物の多様化・高付加価値化	31165	31181	31166	31182	31182	31191	31192	31193 31195
b-3 効率的かつ公平な流通システムの確立	31162	32161						
b-3 効率的かつ公平な流通システムの確立	31194							
c) 経済インフラ整備								
c-1 運輸・交通	21010	21020	21030	21040	21050			
c-2 エネルギー	23010	23020	23030	23040	23050	23061	23062	23063
c-3 情報通信	23064	23065	23066	23067	23068	23069	23070	23081 23082
c-4 その他	22010	22020	22030					
c-4 その他	32130	33210						
d) 保健・医療								
d-1 人口	12220	12230	12240	12250	12261	12281	13010	13020 13030 13081
d-2 エイズ	13040							
d-3 水質改善	なし							
e) 環境保全								
e-1 生態系の保護	41020	41030	41040					
e-2 森林の保全・造成	31210	31220	31261	31281	31282	31291		
e-3 農地の保全	31130							
e-4 上下水道整備	14010	14020	14030	14050				